

Japan Network Services (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Network Services (Japanese Version)」は、企業向けネットワークサービス、SDx、Branch of One（一人支店：ネットワークを含む在宅勤務環境整備）などを中心に、通信事業者のターゲット市場を分析します。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に伴う働き方の変化により、多くの企業にとって最適なネットワーク構成は変化しました。常に一定数が在宅勤務を行うハイブリッドワークを前提とした、SD-WAN やクラウド型セキュリティサービスの活用、Web 会議の増大に伴うトラフィック増大への効果的な対処、DX など、企業のネットワーク担当者が考慮すべき課題はますます複雑になっています。技術面では、ネットワーク仮想化の進展、AI、IoT、5G 商用サービスの普及、6G に向けた研究開発の活発化といった変化があり、また競争面では、通信事業者はクラウドサービス事業者などとの新たな競合に直面しています。

本プログラムでは、上記のような視点で今後のネットワークサービス市場の方向性や競合状況の変化などを分析し、同市場に関する最新のインサイトをお届けします。また市場規模予測と事業者シェアなどの定量情報も提供します。2023 年は特に、SMB（Small and Medium Business 中堅中小企業）に着目した企業ネットワークの市場動向や、クラウド WAN の市場動向の分析を強化します。

Markets and Subjects Analyzed

- ネットワークサービス（WAN、モバイル、固定）
- SD-WAN/SDx
- エンタープライズユーザーの利用動向
- エッジコンピューティング
- 在宅勤務環境提供サービス/Branch of One

Core Research

- 国内ネットワークサービス市場 予測とシェア
- 国内ネットワークサービス市場 企業ユーザー調査
- SD-WAN 市場 予測
- SDx 市場分析
- IDC FutureScape: Worldwide Future of Connectedness 2023 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Network Services \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

- ネットワークサービス市場の今後の市場規模、構造はどのように変化するか？
- 今後のネットワークサービスの競争優位の源泉は何か？
- SD-WAN/SDx はネットワーク市場の構造やサービスをどのように変えていくか？
- COVID-19 収束後に求められるネットワークサービスはどのようなものか？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います（アルファベット順、50 音順）。

Colt テクノロジーサービス、KDDI、NEC、NTT コミュニケーションズ、アルテリア・ネットワークス、インターネットイニシアティブ、NTT ドコモ、NTT 東日本、NTT 西日本、TOKAI コミュニケーションズ、オプテージ、ソフトバンク、富士通、その他